

科目名		学科/学年	時期	授業形態
介護福祉理論		エステティックマスター学 科/1年	前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	99回	6単位(99時間)	必須	

授業の概要

介護福祉理論では、介護職員初任者研修で学んだことを再度確認しながらレポートをまとめることで理解を深める。
 介護予防理論では、生理解剖学や栄養学の知識をもとに、介護を必要としない、いつまでも若々しく元気な方を増やす事を目指して学ぶ。
 アンチエイジング学は加齢とともに変化する身体の変化をはじめ、生活習慣と栄養や運動を結び付けて学習する。

授業終了時の到達目標

若々しく元気で生活する為にはどうしたら良いのか、を解剖生理学、栄養学や運動生理学の観点から学び知識を深め、介護予防セラピストの資格取得を目標とする。又、介護職員初任者研修に参加し介護職として働く上で基本となる知識・技術を習得し、介護職員初任者研修の資格取得を目標とする。

教員紹介

介護の現場で働いていた講師が、実務経験に基づいて授業を行う。

回	テーマ	内容
1～3	介護福祉理論①	介護初任者研修レポートまとめ①
4～6	介護福祉理論②	介護初任者研修レポートまとめ②
7～9	介護福祉理論③	介護初任者研修レポートまとめ③
10～12	介護福祉理論④	介護初任者研修レポートまとめ④
13～15	介護福祉理論⑤	介護初任者研修レポートまとめ⑤
16～18	介護福祉理論⑥	介護について、総合復習①
19～21	介護福祉理論⑦	介護について、総合復習②
22～24	介護福祉理論⑧	介護について、総合復習③
25～27	介護福祉理論⑨	介護について、総合復習④
28～30	介護予防理論①	「高齢化社会と介護予防」 超高齢社会の実態
31～33	介護予防理論②	「高齢化社会と介護予防」 介護予防の取り組み
34～36	介護予防理論③	「老化の生理学」 老化について 老化の五大要素
37～39	介護予防理論④	「老化の生理学」 高齢者の身体的特徴
40～42	介護予防理論⑤	介護予防理論、総括とまとめ
43～45	アンチエイジング学①	「加齢に伴う身体の変化」 細胞の加齢変化 身体組織の加齢変化

回	テーマ	内 容		
46～ 48	アンチエイジング学②	「加齢に伴う身体の変化」 身体組織の加齢変化 【運動器、感覚器】		
49～ 51	アンチエイジング学③	「加齢に伴う身体の変化」 身体組織の加齢変化 【見た目、消化器】		
52～ 54	アンチエイジング学④	「加齢に伴う身体の変化」 身体組織の加齢変化 【循環器、呼吸器、泌尿器】		
55～ 57	アンチエイジング学⑤	「加齢に伴う身体の変化」 身体組織の加齢変化 【内分泌、神経、免疫】		
58～ 60	アンチエイジング学⑥	「老化を引き起こす因子」 老化を引き起こす五大要素、酸化ストレスとエイジング①		
61～ 63	アンチエイジング学⑦	「老化を引き起こす五大要素」 酸化ストレスとエイジング②		
64～ 66	アンチエイジング学⑧	「老化を引き起こす五大要素」 糖化ストレスとエイジング①		
67～ 69	アンチエイジング学⑨	「老化を引き起こす五大要素」 糖化ストレスとエイジング②		
70～ 72	アンチエイジング学⑩	「生活習慣とエイジングケア」 食事・栄養とエイジングケア①		
73～ 75	アンチエイジング学⑪	「生活習慣とエイジングケア」 食事・栄養とエイジングケア②		
76～ 78	アンチエイジング⑫	「生活習慣とエイジングケア」 高齢者の食事と栄養		
79～ 81	アンチエイジング学⑬	「生活習慣とエイジングケア」 運動とエイジングケア①		
82～ 84	アンチエイジング学⑭	「生活習慣とエイジングケア」 運動とエイジングケア②		
85～ 87	アンチエイジング学⑮	「生活習慣とエイジングケア」 睡眠とエイジングケア①		
88～ 90	アンチエイジング学⑯	「生活習慣とエイジングケア」 睡眠とエイジングケア②		
91～ 93	アンチエイジング学⑰	「生活習慣とエイジングケア」 美容とエイジングケア		
94～ 96	アンチエイジング学⑱	「生活習慣とエイジングケア」 デトックスとエイジングケア		
97～ 99	アンチエイジング学⑲	「サロンマネジメント」		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
【教科書】 『日本SPA・ウエルネス協会 介護予防ウエルネス学』 筆記用具、ノート、教科書		出席率 授業態度 小テスト 期末試験	10.0% 10.0% 10.0% 70.0%	